

報道関係者 各位

新潟県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す
遺伝子変異が検出された新型インフルエンザウイルスについて

新潟県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスの分離が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

**「タミフル」に耐性を示す遺伝子変異を有する
新型インフルエンザウイルスが確認されました**

新潟県内の新型インフルエンザ患者から、オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す遺伝子変異を有するウイルスが確認されましたので、お知らせします。

1 検査結果

新潟県保健環境科学研究所の遺伝子解析の結果、オセルタミビル耐性を示す遺伝子変異が検出されました。

国立感染症研究所が、詳細な検査を行ったところ、当該検体には耐性株と感受性株のウイルスが混在しており、薬剤感受性試験においては、オセルタミビルに感受性があるとの検査結果となりました。なお、ザナミビル(商品名:リレンザ)についても、感受性があることが確認されました。

2 患者の概要

10歳未満(小学生) 男児 基礎疾患:気管支ぜん息

- ・11月7日 38度の発熱、咳のため、病院の外来を受診し入院となる
医師がインフルエンザを疑いタミフルを投与する
- ・11月8日 発熱39度、簡易検査でインフルエンザA型陽性
- ・11月9日 解熱
- ・11月11日 検査用検体採取
- ・11月13日 遺伝子検査により、新型インフルエンザの感染を確認
- ・11月15日 症状軽快
- ・11月16日 退院

入院から退院まで同室患者はおらず、病院職員への感染は確認されていない。

※患者等の個人情報には、特段のご配慮をお願いします。

3 その他

○タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの重篤度(病原性)には直接影響を及ぼすものではないとされる。(厚生労働省)

○新潟県保健環境科学研究所への取材は、御遠慮願います。

本件についてのお問い合わせ
福祉保健部健康対策課
山崎課長 (直通) 025-280-5785
(内線) 2651